

4回目の特別委員会を開催

3月定例会では、「一般会計予算特別委員会」を開催し、この中で一般会計の当初予算を審査しました。大村市議会では、一般会計の当初予算と決算（3・9月）の審査を、全議員（議長を除く）による「特別委員会」で審査しており、今回で4回目になります。審査にあたっては、6名の委員による会派代表質疑、常任委員会の所管に応じて設置した4つの分科会による細部審査などを実施しました。



大型建設事業については、早急に事業内容を明確にすること」との要望が出されました。

条例

奨学金の貸与資格の見直し、企業誘致促進のための固定資産税の課税の特例期間の延長など4件の条例改正案を可決しました。

奨学金の貸与資格が専修学校まで拡大されたことについて審査を行った経済文教委員会では、専修学校の定義について質問し、理事者からは「学校教育法124条に規定する教育機関であり、その学

校が対象であるかについては個別の登録確認が必要である」との答弁がありました。

補正予算

約5億5,250万円を追加する平成22年度的一般会計補正予算を可決したほか、9件の特別会計・企業会計の補正予算を可決しました。

一般会計補正予算の主なものは、竹松小学校、桜が原中学校の校舎の増築、林道（田下線）の路肩改修などです。

桜が原中学校の校舎増築について審査を行った経済文教委員会では、狭い敷地での増築であり、子どもたちの学習環境の悪化が危惧されることから、新たな土地の取得も含め、対策を検討するよう要望しました。

請願・陳情

5件の請願、2件の陳情が提出され、請願については、所管の常任委員会で審査を行い、3件が採択、2件が不採択となりました。

採択された請願のうち、「保育を守るための請願」については、

国に意見書を提出しました。

「認可外保育園への補助金の増額と地方裁量型認定こども園の認可促進に関する請願」と「住宅・店舗リフォーム資金の助成、創設を求める請願」の2件については、請願書を市長に送付するとともに、その処理経過及び結果報告を請求しました。

意見書

保育制度改革「子ども子育て新システム」の拙速な導入に反対する意見書

子どもたちのすこやかな成長と発達を守るため、保育制度改革「子ども・子育て新システム」の拙速な導入を行わないよう、国に対し意見書を提出しました。

4月臨時会

4月12日に臨時会が開かれ、竹松本町架道橋新設工事における事業者との基本協定の締結など、2件の議案を可決しました。

竹松本町架道橋新設工事について審査を行った建設環境委員会では、可能な限り市内事業者へ工事の発注がなされるよう要望しました。